



グループ一体となった取り組み

Green Earth

400社を超えるグループ会社が心を一つにして、地球レベルの環境保全を進めています。

富士通の事業活動は、グローバルに展開する400社を超えるグループ会社とともに歩んでいます。こうしたグループ各社の環境活動に対する温度差をなくすため、国内・海外の関係会社による連絡会議を定期的で開催し、活動成果の共有や指示事項の周知、そのほか情報交換を徹底。世界に広がるグループが一体となって環境問題に取り組んでいます。

国内グループ環境会議

関係会社環境会議

国内連結製造子会社を中心とした関係会社(37社)の環境担当責任者で構成された会議であり、グループ共通の目標や対策などについて討議・決定しました(計3回、通算16回)。なお、2000年度より「関係会社環境問題連絡会議」の名称を「関係会社環境会議」に変更しました。これは、環境目標や取り組みなどの討議の場であることを明確にするためです。



関係会社環境会議

主な討議結果

- 新環境行動計画の目標値設定
- 環境会計における協調推進

関係会社技術交流会

グループ内で有効な環境技術・ノウハウの相互交流・展開をはかるため、取り組みテーマごとの技術交流会を開催しました(計4回、通算38回)。

開催テーマ

- 廃棄物ゼロエミッション*1
- 環境マネジメントシステム
- 製品リサイクル対策

*1 廃棄物ゼロエミッション:工場廃棄物減量化対策は、廃棄物のゼロエミッションをめざすことを明確にするため「廃棄物ゼロエミッション」と名称変更しました。

第3回富士通エコフォーラム

グループ各社の環境問題への取り組み事例や技術に関する発表を行う「富士通エコフォーラム」を開催しました。また、第3回目となる今回は、環境経営・環境会計の第一人者である神戸大学大学院の國部克彦助教授を迎え、「21世紀の環境経営システム」についてご講演いただき、従業員約180名が聴講しました。なお、フォーラムの中で環境貢献賞・環境フォトコンテストの表彰式も行いました。

事例発表テーマ

- 沼津工場における廃棄物ゼロエミッション達成の活動(沼津工場)
- 業界NO.1の省エネ性能を備えたルームエアコンの開発(富士通ゼネラル)*2
- 富士通鳥取グループの鳥取砂丘一斉清掃ボランティア活動について(鳥取支店)

*2 43ページをご覧ください。



第3回富士通エコフォーラム

海外グループ環境会議

北米、アジア・オセアニア、欧州の各社の環境担当責任者で構成された会議であり、グループ共通方針や課題の討議、情報交換などを行っています。

2000年度は、前年度の第3回全体会議の決定事項に基づき地域別会議を欧州で2月に開催しました(参加社数:10社、参加者数:17人)。また、第4回の全体会議を2001年度に実施する予定です。



欧州地域別会議参加者一同

欧州地域別会議メンバー

参加会社(10社)

欧州

| | |
|--------------------------|----------|
| 富士通マイクロエレクトロニクス・ヨーロッパ | (ドイツ) |
| 富士通テレコム・ドイツ | (ドイツ) |
| 富士通ドイツ | (ドイツ) |
| 富士通ヨーロッパ | (イギリス) |
| 富士通アイソテック・アイルランド | (アイルランド) |
| 富士通イタリア | (イタリア) |
| 富士通 | (日本) |
| 富士通シーメンスコンピューターズ | (ドイツ) |
| アイシーエル | (イギリス) |
| シンコウ・マイクロエレクトロニクス・アイルランド | (アイルランド) |

欧州地域別会議の主な内容

2000年2月14・15日の2日間に渡って行われた会議では、主に次のようなテーマが討議・注目されました。

リサイクルコンセプト、製品回収プログラム、包装、物流について

2つの重要な環境分野でのEU 規制について

WEEE(廃電気・電子機器規制令)

RoHS(電気電子機器に対する特定有害物質使用制限に関する指令)

欧州の富士通拠点と富士通は、第3期環境行動計画を具体化すること、今後ワークショップを設けて協力・議論していくことで合意しました。

海外環境情報ネットワーク

海外の関係会社を結ぶネットワークを通じて、環境情報を共有化することにより、情報の有効活用をはかるとともに、担当者間のコミュニケーションを行っています。

情報提供事例

グループ全体としての取り組み方針に関する情報
第3期環境行動計画の策定にともなう調査
植林、ISO14001など、グループの先進的取り組み
情報

ネットワーク参加社数

北米・南米 13社
アジア・オセアニア 28社
欧州 14社